

(非公募)

山口市島地温泉ふれあいセンター指定管理者候補者審査結果

- 1 施設の名称 山口市島地温泉ふれあいセンター
- 2 指定の期間 平成31年4月1日～平成36年3月31日
- 3 指定管理者候補者特定団体名
島地温泉ふれあいセンター運営協議会
会長 雪野 洋輔
山口市徳地島地2102番地4
- 4 団体の概要（目的、事業内容、事業実績等）
本団体は、島地地区を中心とした住民で構成され、島地地区の豊かな自然と恵まれた地域資源を活用して、地域住民との連帯及び地域外の住民との交流を図るとともに、地域づくりに資する事業を展開することで地域の活性化を図ることを目的として設立された団体であり、開館当初から指定管理者として温泉業務や施設の管理運営業務を行ってきたほか、ロハス朝市などの自主事業にも積極的に取り組んでいるところである。
- 5 非公募施設とした理由
島地温泉ふれあいセンターは、市民の福祉の増進を図るとともに、交流を通じて活力ある地域づくり、中山間地域の活性化を目指し建設された施設であり、多くの地域資源を活用した事業展開の実施や魅力ある地域の情報を発信するには、当該地域の住民や利用者で組織された団体により管理運営を行うことが効果的であり、施設の設置目的を有効に達成できると判断したため。
- 6 審査の経過
仕様書の決定 平成30年8月8日（水）
指定申請提出期間 平成30年8月14日（火）～平成30年9月14日（金）
選定委員会によるヒアリング及び審査 平成30年10月17日（水）
- 7 審査の方法
 - (1) 選定委員会委員
村田 尚士 地域生活部長（委員長）
眞砂 義明 地域生活部次長（副委員長）
森原 久 協働推進課長（委員）
吉村 浩彦 地域生活部参事（委員）
杉山 敏之 地域生活部参事（委員）
 - (2) 提出書類の確認
特定団体からの提出書類については、適正に記載されていることを確認しました。
 - (3) 特定団体ヒアリング
特定団体に対しヒアリングへの出席を求め、提案内容等についての説明及び質疑応答を行いました。
実施日 平成30年10月17日（水）
場 所 山口市役所 第2委員会室

(4) 審査内容

非公募による特定団体からの提案内容については、指定申請等の提出書類やヒアリングの内容に基づき、選定委員会において、公募施設と同様に選定基準〔別紙1〕に掲げる評価項目ごとに評価を行い、各委員の点数を合算したものを得点としました。

また、施設の更なるサービスの向上や効率的な運営等への努力の観点から、各委員の意見を付記して審査意見としました。

8 選定の概要

選定項目	配点	委員数	総配点	島地温泉ふれあいセンター運営協議会
利用者の公平性・平等性の確保	10	5	50	41
施設の効用の最大限の発揮	30	5	150	118
管理運営経費の縮減	25	5	125	80
指定管理料の縮減	5	5	25	15
管理を安定して行う団体基盤	15	5	75	50
利用者の安心・安全確保	15	5	75	52
市の施策への貢献	15	5	75	63
合計得点	115	5	575	419

9 審査意見

島地温泉ふれあいセンター運営協議会は、山口市島地温泉ふれあいセンターが平成23年にオープンした当初から指定管理者として運営をされており、今日まで地域の交流拠点施設として、地域内外の交流や地域団体との連携に積極的に取り組み、地域の活性化に寄与されています。

また、利用者アンケートの回答から利用者ニーズを把握し、業務改善を図るほか、各種研修・講習会へ参加されるなど安全安心な施設利用・管理に努め、来館者に配慮した施設運営に取り組まれています。

広報活動については、「ロハス新聞」を長年発行されるなど、情報発信に積極的に取り組まれています。地域外への宣伝等にも重点をおく必要があると考えます。

予算執行においては月1回の役員会で状況報告を行うなど、適正な執行に努めるとともに、光熱水費や消耗品の節減やグリーンカーテンを積極的に行うなど、環境に配慮しつつコスト削減がサービス低下につながらないよう配慮されています。

以上を含め、総合的に判断し当施設の指定管理者として必要な条件を満たしており、指定管理候補者として適当であるものと認めます。

別紙1 指定管理者候補者選定基準

【審査項目】	【得点】
1 利用者の公平性・平等性の確保 ①公の施設の基本的なあり方・管理運営にあたっての基本方針 ②利用者の公平・平等な利用を確保するための方策	10
2 施設の効用の最大限の発揮 ①施設管理の運営方針 ②利用促進に向けた方策 ③利用者ニーズの把握とサービス向上のための方策 ④苦情対応のための方策	30
3 管理運営経費の縮減 ①施設維持管理のための方策 ②施設修繕に対する方針および対応 ③効率的・経済的な施設管理 ④収支予算書の妥当性	25
4 指定管理料の縮減 ①指定管理料の縮減	5
5 管理を安定して行う団体基盤 ①適切に行える職員体制 ②職員の指導育成・研修体制 ③安定した管理を行うための団体基盤	15
6 利用者の安心・安全確保 ①危機管理・安全管理・衛生管理体制 ②個人情報の取扱いの方針及び具体的手法	15
7 市の施策への貢献度 ①地域団体等との連携 ②市の施策に配慮した事業活動の提案及び実績	15
合 計	115